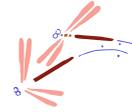


暑さと熱気の43日間



校長 戸倉 務

43日間にわたる、暑さと熱気の夏休みが終わりました。

期間中、国内各地で高温や豪雨、地震が相次ぎましたが、お近くに被害はなかったでしょうか。被災された方々には、心よりお見舞いを申し上げます。

まだこの先も続きそうですが、東京の高温は凄まじいものでした。最高気温が30℃を下回ったのは1日だけで、35℃以上の猛暑日は15日を数えました。6年生と出かけた奥日光の朝は、18℃の別世界でした。学校では「暑さ指数(WGBT)」に基づいて運動の可否を判断していますが、今年の夏季水泳指導も「危険」の判定により、中止が続出しました。こうした状況が来年度以降の夏も続くならば、夏休みの水泳指導のあり方を再考しなければなりません。引き続き今日からの暑さを見越して、安全な教育活動に取り組んでいきます。

夏休み前半には、パリ2024オリンピック競技大会が開催されました。日本をはじめ世界の選手のメダル獲得や好記録のニュースに沸き立つ、熱気に満ちた2週間でした。休み明けの子どもたちの話題にも、たくさん登場すると思います。世界で躍動する若い選手の姿に憧れを感じ、勇気と励ましを得た子どもが大勢いることでしょう。伝統ある種目や新しい種目で世界一を競い合う若い世代の姿は頼もしく、印象強く残りました。

国際競技への関心の高まりは、現在開催中のパラリンピック競技大会へと引き継がれています。多様性を認め合い、誰もが個性や能力を発揮し活躍できる公正な機会であり、社会の中のバリアを減らしていくことの必要性や、発想の転換を広く働きかけることにつながります。代表選手たちが自分の課題や困難に立ち向かいながら頂点を目指し、いつでも対戦相手への敬意を払うスポーツマンシップにも注目したいと思います。

それぞれの思い出を胸に、学校生活の再開です。本年度後半も、よろしくお願いいたします。



←社会科見学での埋立処分場の様子
セーフティ教室で発表している様子 →



4年生は、7月までに様々な体験的活動を通して学習していきました。「百聞は一見にしかず」といいますが、見て、聞いて、感じて、考えた4年生の学習の様子について紹介します。16日(火)の社会科見学では、大田区清掃工場、中央防波堤埋立処分場を見学しました。燃やすごみの処理が実際に行われている様子や清掃局員の方のお話を熱心に聞きました。また、中央防波堤埋立処分場では、埋め立ててできた広大な土地を見ることができました。ごみを減らして行かなければ処分する場所がなくなってしまうことも実感できました。18日(木)のセーフティ教室では、留守番の際の注意点や災害時のメッセージの残し方など日頃の生活に生かせるような知識や体験を通して学ぶことができました。

岩井自然体験教室を終えて

第5学年 太田 翔吾

6月20日(木)～22日(土)、岩井自然体験教室に行ってきました。1日目は、鋸山・日本寺に行きました。恐る恐る地獄のぞきを覗き、自分たちが頑張って登ったことを実感していました。その後到着した北区岩井学園では、お世話になる方々に気持ちのよいあいさつができました。夜にはキャンドルファイヤーを行い、子供たちが企画、計画したレクリエーションを最大限楽しんでいました。2日目は、鴨川シーワールドでたくさんの生き物に触れ、どこに生息しているのか等、メモしながら見学する姿が見られました。千葉県伝統工芸品の房州うちわ作り体験では、実際に一生懸命作中で大変さを知りました。子供たちが行った工程の7倍もの工程を職人の方たちは行っており、技術力の高さに驚く場面も見られました。3日目は、砂山でサンドスキーを行い、何度も楽しそうに滑り降りては登っていました。この岩井自然体験教室で子供たちは自分たちで声を掛け合い、助け合う姿が多く見られました。その中で、責任をもって行動することや感謝の気持ちをしっかりと伝えることの大切さを改めて感じていました。自宅を離れ、友達と生活を共にする経験は、子供たちにとって大切な思い出と貴重な体験の一つとなったのではないかと思います。

日光高原学園を終えて

第6学年 大場 清子

8月2日(金)、多くの保護者の方々、先生方に見送られ、6年生は大型バスにて猛暑の東京から出発しました。日光高原学園という名の通り、標高約1400mの奥日光に4日(日)まで滞在しました。

まず訪れた「日光東照宮」は、有名な歴史的建造物ということで子供たちも熱心に説明を聞いていました。(写真左)東照宮建造に込められた願いや思いがよく分かったようでした。夕食後は日光彫体験を行いました。(写真中)彫刻刀とは違う手法に戸惑いながらも、丁寧に取り組んでいたので出来映えは皆満足そうでした。2日目は広大な湿地、小田代ヶ原や戦場ヶ原を歩きました。(写真右)鳥のさえずりが聞こえ、どこまでも続く木々や植物、見上げれば抜けるような青空と男体山、たいへん美しい景色でした。自然を満喫しながら友達と楽しくおしゃべりしているうちに、合計4時間以上のハイキングを完歩することができました。

3日間を通して、しおりの予定を把握することや荷物の整理整頓の大切さ、支えてくれる方々のありがたみが分かったようでした。

今後の生活に生かしてくれると期待しています。

